

令和３年度 第１回周南市スポーツ推進計画策定委員会 会議録

1. 日時 令和３年 12 月 15 日（水）19 時 00 分～20 時 45 分
2. 場所 周南市役所本庁舎 2 階共用会議室 G
3. 出席者 瀬尾賢一郎委員、明石和憲委員、近藤優子委員、藤本真樹委員、
徳原峰男委員、末長裕昌委員、宮崎純一委員、岡崎好治委員、
北島信哉委員、赤岸桃子委員
欠席者 なし
4. 事務局 地域振興部 岩崎
文化スポーツ課 大木、内本、河野、山本
5. 傍聴者 なし
6. 会議内容
開会 事務局が司会進行
 - 挨拶 地域振興部長 岩崎 達也
 - 委員自己紹介
 - 会長・副会長の選任
周南市スポーツ推進計画策定委員会設置要綱第 5 条第 2 項により「委員の互選によって定める」と規定されているため、委員の互選とする。徳原委員より事務局一任の声が上がり、各委員の承諾が得られたため事務局案として会長に瀬尾 賢一郎委員、副会長に明石 和憲委員を提案。各委員の了解が得られたため、会長に瀬尾 賢一郎委員、副会長に明石 和憲委員が選出された。

● 議事（進行は瀬尾会長）

発言者	発言内容
事務局	議事（１）計画の策定方針と今後のスケジュールについて説明
質疑	
質疑なし	

発言者	発言内容
事務局	議事（２）スポーツ推進計画の素案について説明
質疑	
第 1 章から第 2 章第 4 節まで	
委員	幼児期におけるスポーツへの参加状況が分かると良い。
事務局	次回の策定に盛り込んでいきたい。
委員	コロナ禍のため令和 2 年度のスポーツ施設の利用状況はイレギュラーな状況となっているが、掲載する必要があるか。

事務局	施設利用者数を目標の項目としているため、現状をお示しするために掲載している。ただし、施設毎の利用者数まで掲載する必要があるのか、地区ごとの利用者数程度でも良いのでは等も考えられるので、検討させていただく。
委員	施設の利用状況については施設の充実度、市内に施設がどの程度あるのかを紹介するようにしてはどうか。
瀬尾会長	そのように変更することは可能か。
事務局	施設を紹介する形に変更させていただく。
委員	「する、みる、ささえる」に加えて「学ぶ」、「興味をもつ」などを加えてはどうか。
瀬尾会長	スポーツ庁では「知る」を加えている。
事務局	記述を含めてどのように修正できるか検討させていただく。
委員	「スポーツに関わる団体」の中のスポーツ少年団の記述について、スポーツ少年団だけでなく、様々なクラブチームも活動していると思うので、併せて状況調査結果があると良いと思う。
事務局	スポーツ少年団は周南市体育協会への登録があるので把握できるが、クラブチームはすべてを把握することは困難。しかし、クラブチームについては何らかの記載をしたいと思うので検討させてほしい。
委員	市民センター等で実施されているヨガや体操などはこの計画の対象にならないか。
事務局	計画におけるスポーツの定義の中で「体を動かすという人間の根源的な欲求を満たし、それ自体が喜びや楽しさをもたらすような幅広い身体活動」を含めスポーツと定義付けしている。健康にも繋がる活動で大切な部分かと思うので、計画に加えていきたい。
瀬尾会長	市民センターでの講座などの実施状況の調査結果があると良いと思う。
第2章第4節及び第5節について	
委員	中高生が準備・運営に参加している大会があるが、学生はスポーツボランティアと認識せずに活動をしていることがある。アンケート結果にも影響することだが、スポーツボランティアの認識を改められるような記載にすると良い。
委員	「する」人では、例えば柔道では男性：女性＝3：1だが、支えるになると10：1となる。女性はライフスタイルの変化が大きいため、一度競技から離れると戻りにくい実態があると思う。女性に関わる環境を整えることが出来れば、もっと「支える」人が増えると思う。 視点の一つとして加えることが出来れば良いと思う。
事務局	スポーツに限らず女性の社会参画に関わる大きなテーマになるため、どこ

	まで記述できるか検討する。
委員	直接スポーツの観戦をした人についての調査で、「周南市ではなかなか機会がない。積極的に取り組む」などの視点での記述は出来ないか。
事務局	高いレベルのプロなどの試合でないと「観戦」とは呼べない考える。周南市にそういった試合が来ることはなかなかなく、数年に一度ウエスタンリーグを誘致したりしてはいるが、プロスポーツをどんどん誘致することが出来るかという難しく、市としても引き続き取り組んでいくべき課題であると考えている。
第3章及び第4章【基本方針1】について	
委員	令和5年度以降から休日部活動の地域移行の話があると思うが検討の進捗状況は。
事務局	周南市では教育委員会が県内のモデル校である秋月中学校で検証を行っているが、まだ情報が共有されていない状況である。
委員	スポーツボランティアは、スポーツに関わる人だけでなく福祉系の大学生、福祉を目指す高校生に声をかけると、意外と集まるなど、学生の経験にもなるので良いと思う。
事務局	計画の内容に加えさせていただく。
第4章【基本方針2】について	
委員	「スポーツ施設」と「体育施設」の記述があるが違いはなにか。また、対象に学校などの遊具は含まれるのか。
事務局	どちらかに統一する。ここでの施設に学校等の遊具は含まれていないが、学校体育施設のスポーツ開放などでの利用も多いため、教育委員会と連携し取り組んでいきたい。
第4章【基本方針3】について	
委員	大津島ポテトマラソンは、今後の開催について検討をする必要がある状況かと思うが、大会がなくなったとしても計画に掲載するのか。
事務局	令和4年度については、開催する方向で大会実行委員会の中で進めており、引き続き掲載する予定である。
第3章第3節 計画の基本目標及び数値目標について	
委員	スポーツ少年団の加入率や人数は増加しているのか。減少しているのか。
事務局	スポーツ少年団に参加している人数については、若干減少をしている状況である。
委員	スポーツ少年団の加入率50%の目標は厳しいと考える。県でもスポーツ少年団の枠にとらわれない活動する組織づくりが主流になる流れになってきており、スポーツの活動率などにはどうか。

事務局	クラブチームに加入する学生もあり、委員が言われる通りと思うので、どのように記載できるかを含め検討する。
委員	成人スポーツの実施率に関わる部分であるが、障害者スポーツの実施について、次期計画の策定の段階で議論ができるように準備を進めて欲しい。

- 次回の策定委員会について

日時：令和４年１月１７日（月）１９時００分～２０時３０分

場所：周南市役所４階 庁議室